



食卓で新聞を読んでいると話すSKE 48の須田亜香里さん＝名古屋市中区で

# 社会の今知るため

## SKE須田さん「読むことで大人に」

NIE(教育に新聞を)全国大会が三日、名古屋市熱田区の名古屋国際会議場で開幕する。「スー女」「歴女」「山ガール」ならぬ、「『新聞女子』を増やしたい」。アイドルグループ「SKE48」の須田亜香里さん(25)＝名古屋出身＝の思いだ。●面参照

「社会で何が起きているのか、一人の大人として知っていきることが載っているのが新聞」

最近気になったのは、強い毒を持つ南米原産の「ヒアリ」が日本に入ってきたとのニュースだ。喫茶店に入り、愛知県春日井市でヒアリが発見された記事を隅から隅まで目を通した。

「SKEの他のメンバーとも、『注意しなくちゃ』って話しました」

小学五年で新聞を読み始め

た。中学受験に備えた時事問題対策のためだった。

はじめはテレビ欄だけに目を通していたが、環境や食料問題など亜香里さんが興味を持ちそうな記事を、いつも母が薦めてくれた。

食卓のテーブルにいつも、四つに折られた新聞が置いてある家庭で育った。

一番に読むのはいつも父。地方版によく目を通す母は今も、バレーをしていた時代の先生や友人を新聞上で見つけると亜香里さんに教えてくれる。

る。

「今も難しい記事は苦手」。それでも、「書いているのは結局『ひと』。新聞を読むことは、難しい話題を分かりやすく書くこととして、記者と、記事を理解しようとする私の対話」。

残業の記事を見ると、「これが働くお父さん、お母さんの現在進行形の悩みなのかな」と思う。

出産や子育ての話には目が止まる。「未来を担う一人とい

して、社会のことを知っておきたい」  
今年「HAPPY NIE WS 2017」(日本新聞協会主催)のゲスト審査委員に選ばれている。  
ハッピーニュースが多ければ、幸せな気持ちが大きくなるだけでなく、その分逆に、重大ニュースの大切さも際立つ気がしている。

「新聞に触れることは、私自身がもっとも大人になるチャンス」。まだ二十代半ばだが、いつかは結婚して家庭を築くつもりだ。

「私が育ったのと同じように、朝の食卓に当たり前に新聞が置いてある家族を持ちたい」

須田亜香里(すだ・あかり) 名古屋市を拠点に活動するSKE48のメンバー。SKE48は演出家の秋元康氏が手掛けるアイドルグループAKB48の姉妹グループの一つ。AKB48を含む姉妹グループ全体から参加できる総選挙が年に1度実施されており、今年は全体で6位となった。幼いころにバレーを始め、好成績を残した2006年と翌07年には、本紙で紹介されたこともある。